事　業　報　告　書

自 令和 4年 4月 1日　至 令和 5年 3月31日

社会福祉法人　西 春 福 祉 会

1.法人運営の状況

(1)理事会の開催

理事会を次のとおり開催した。

令和4年4月19日(火)

出席者　理　事　高桑金平　阿部久邇夫　水野高作　横手政孝
　　岡部憲子
　　監　事　高柳利清　橋本俊也
　　事務局　山田雅貴
欠席者　理　事　長岩嘉文

付議事項　・グループホーム建設工事監理業務委託契約の締結について

令和4年5月18日(水)

出席者　理　事　高桑金平　阿部久邇夫　水野高作　横手政孝
　　岡部憲子
　　監　事　高柳利清　橋本俊也
　　事務局　山田雅貴
欠席者　理　事　長岩嘉文

付議事項
- 社会福祉法人西春福祉会制限付き一般競争入札実施要領の制定について
- 社会福祉法人西春福祉会知的障害者共同生活援助施設(グループホーム)建設工事請負業者の選定について
- 社会福祉法人西春福祉会職員給与規程の改正について

令和4年6月9日(木)

出席者　理　事　高桑金平　長岩嘉文　阿部久邇夫　水野高作
　　横手政孝　岡部憲子
　　監　事　高柳利清　橋本俊也
　　事務局　山田雅貴

付議事項
- 令和3年度社会福祉法人西春福祉会事業報告について
- 令和3年度社会福祉法人西春福祉会社会福祉事業会計資金収支決算について
- 令和4年度社会福祉法人西春福祉会社会福祉事業会計資金収支補正予算(第1号)について
- 社会福祉法人西春福祉会共同生活援助施設(グループホーム)建設工事に係る入札参加予定業者について
- 社会福祉法人西春福祉会定時評議員会について

・ 理事長の職務執行状況について
・ 社会福祉法人西春福祉会共同生活援助施設（グループホーム）建設工事に伴う借入金に関する担保物件について

令和4年7月13日（水）

出席者　理　事　高桑金平　阿部久邇夫　水野高作　岡部憲子
監　事　高柳利清　橋本俊也
事務局　山田雅貴

欠席者　理　事　長岩嘉文　横手政孝

付議事項
・ 社会福祉法人西春福祉会共同生活援助施設（グループホーム）建設工事請負契約について
・ 社会福祉法人西春福祉会共同生活援助施設（グループホーム）建設工事に伴う借入金に関する担保物件について

令和4年11月30日（水）

出席者　理　事　高桑金平　長岩嘉文　阿部久邇夫　水野高作
岡部憲子
監　事　高柳利清　橋本俊也
事務局　山田雅貴

欠席者　理　事　横手政孝

付議事項
・ 社会福祉法人西春福祉会職員給与規程について

令和5年3月8日（水）

出席者　理　事　高桑金平　長岩嘉文　阿部久邇夫　水野高作
横手政孝　岡部憲子
監　事　高柳利清
事務局　山田雅貴

欠席者　監　事　橋本俊也

付議事項
・ 令和4年度社会福祉法人西春福祉会社会福祉事業会計資金収支補正予算（第2号）（案）について
・ 社会福祉法人西春福祉会社会経理規程の改正について
・ 令和5年度社会福祉法人西春福祉会社会福祉事業計画（案）について
・ 令和5年度社会福祉法人西春福祉会社会福祉事業会計資金収支予算（案）について
・ 指定共同生活援助事業所運営規程について
・ 指定短期入所事業所運営規程について
・ 社会福祉法人西春福祉会職員就業規則の改正について
・ 社会福祉法人西春福祉会第2回評議員会について
・ 役員賠償責任保険について
・ 理事長の職務執行状況について

(2)評議員会の開催

評議員会を次のとおり開催した。

令和4年6月27日(月)

出席者　評議員　青木勲男　入江徹男　酒井知子　檜吉真壽
福井昌子　堀場金幸　森川妙子
理事長　高桑金平
監　事　高柳利清
事務局　岡部憲子　山田雅貴

欠席者　監　事　橋本俊也

付議事項
- 令和3年度社会福祉法人西春福祉会事業報告について
- 令和3年度社会福祉法人西春福祉会社会福祉事業会計資金収支決算について
- 令和4年度社会福祉法人西春福祉会社会福祉事業会計資金収支補正予算(第1号)(案)について
- 社会福祉法人西春福祉会グループホーム建設に伴う借入金に関する担保物件について

令和5年3月27日(月)

出席者　評議員　青木勲男　入江徹男　酒井知子　檜吉真壽
福井昌子　堀場金幸　森川妙子
理事長　高桑金平
監　事　高柳利清　橋本俊也
事務局　岡部憲子　山田雅貴

付議事項
- 令和4年度社会福祉法人西春福祉会社会福祉事業会計資金収支補正予算(第2号)(案)について
- 社会福祉法人西春福祉会社会経理規程の改正について
- 令和5年度社会福祉法人西春福祉会社会福祉事業計画(案)について
- 令和5年度社会福祉法人西春福祉会社会福祉事業会計資金収支予算(案)について
- 指定共同生活援助事業所運営規程について
- 指定短期入所事業所運営規程について
- 社会福祉法人西春福祉会職員就業規則の改正について

(3)監事による監査

・令和4年5月19日(金)、高柳利清・橋本俊也両監事により、令和3年度社会福祉法人西春福祉会　事業報告・決算及び関連事項について監査を受けた。

・令和4年11月11日(金)、高柳利清・橋本俊也両監事により、令和4年度社会福祉法人西春福祉会　上半期決算及び関連事項について監査を受けた。

2. 施設運営の状況

作業所の事業については新型コロナウイルス感染症の影響が続き、感染拡大防止のため中止せざるを得ない行事もあったが、少しずつコロナ禍以前の活動を取り戻すべく、「作業所まつり」を屋外のみで飲食の模擬店を無くし「作業所バザー」として実施する等、安全に配慮し予防対策をしながら実施した。しかしながら、第8波のときは作業所も感染者が多く出る事態となった。手指消毒・換気・給食時の利用者の対面席の中止・送迎車の利用人数の制限・通所前の検温については引き続き実施した。施設間での感染を防ぐため、利用者が他施設のショートステイを利用すると当作業所を利用できなかったり、精神的に不安定な状態になるなどして利用減となる状況は続いている。生産活動事業については、地域の行事が再開したためクッキー販売による自主事業収入は増加に転じたが、工賃事業には引き続き影響が出て収入減となった。

(1)地域交流事業

新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら安全に行える範囲で実施した。
地域で行われた事業にも参加し、当作業所の自主製品のクッキー販売をした。

＜実施行事及び参加行事＞

- 平和夏まつり(7月30日、31日)
- にしはるひまわり作業所バザー(10月23日)
- ボランティアまつり(10月30日)
- 商工祭(11月3日)
- アザレア映画会(2月18日)
- ランフェスタ(3月5日)

(2)施設間交流行事

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の行事は中止した。

- 三施設合同作品展 ・ 三施設職員合同研修会
- 餅つき大会

＜実施事業＞

- ボウリング大会(3月10日)
  尾張中央ロータリークラブ主催で、にしはるひまわり作業所とセルプしかつ合同でボウリング大会を実施した。
- 「アートでつながる展示会」作品作り
  名古屋芸術大学ローターアクトクラブ主催で、にしはるひまわり作業所とセルプしかつ合同で作品作りを行った。

(3)日赤奉仕団共同事業

日赤奉仕団と当作業所、共同で農作物の収穫等を行った。

＜実施事業＞

- 玉ねぎの収穫 ・ さつまいもの収穫 ・ 玉ねぎの苗植え

(4)施設外研修事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業計画にあげていた以下の行事は中止した。

- 社会見学 ・ 買物実習

(5)健康管理事業

利用者の健康状況を把握するために、通所前の検温や健康診断を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策で、手指消毒を行うとともに、空気清浄機の利用や窓の開放をして換気に努めた。

＜実施事項＞

- 歯科健診(9月8日)
  愛知県歯科医師会の協力で歯科検診、歯磨き指導を実施した。
- 健康診断(9月27日)
  (財)名古屋公衆医学研究所集団検診センターに依頼し、施設内で健康診断を実施した。
- 毎月1回、嘱託医による回診を実施した。
- 毎月1回、看護師による体重測定・血圧測定・検温を実施した。

(6)防災対策事業

有事に備え避難訓練等を実施した。

＜実施事項＞

- 消防避難訓練、通報訓練(8月26日、2月8日)
  地震に因り火災が起きたと想定し、訓練を実施した。避難訓練終了後、消火器の使用方法について説明を受け、水消火器を使用し消火訓練も行った。

(7)文化的活動体験事業

季節及び年の節目ごとの行事を実施した。

＜実施項目＞

- クリスマス会(12月23日)
  昨年に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアへの協力は依頼せず、利用者と職員のみでゲーム等を行った。
- 仕事納め(12月28日)
  昨年に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため保護者への協力は依頼せず、利用者と職員のみで大掃除を実施した。
- 仕事始め(1月4日)
  昨年に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため保護者への参加依頼はせず、利用者と職員のみで行った。
- 節分(2月3日)
  文化活動で作った巨大な段ボール製の鬼をめがけ、豆まきを行った。

3. 令和4年度決算の状況

(1)法人全体及び貸借対照表について

社会福祉法人として地域における公益性を発揮するため、法人・施設の財務管理の側面からいえば、中長期にわたる事業経営管理が重要視される。そこで、以下の指標で当法人の財務分析をした。

・ 自己資本比率

法人の安全性を示す指標で比率が高いほど安定しているといえる。一般的に50％が目安とされている。

当法人の自己資本比率は、68％である。

・ 固定比率

法人の長期的な安定性を示す比率。長期に保有する固定資産は、短期的に返済を迫られる資金を充てるのは不都合であり、なるべく自己資本によって調達されるべきで100％を切るのが理想とされている。

高額な固定資産を購入した初期段階は固定比率が上がるが、減却償却を通じて固定比率は下がっていく。

当法人の固定比率は、117％である。

・ 流動比率

短期（1年以内）の負債の支払い能力を表す比率。

当法人の流動比率は、169％である。平均値は120～150％であり、当面の負債に対する支払い能力はあるといえる。

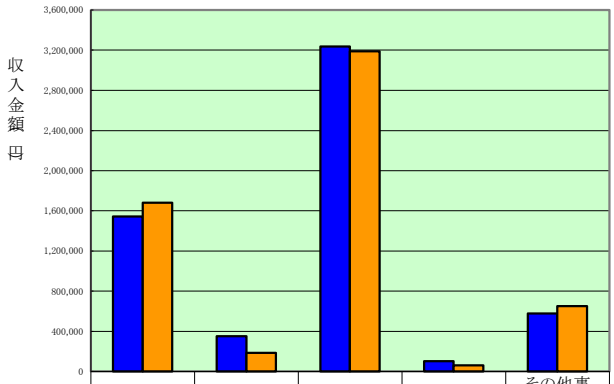
(2) 生産活動事業について

令和4年度生産活動事業総収入高は、5,809,878円であった。前年度と比較すると45,452円増加した。平和夏まつりや商工祭等の行事が再開されたため、自主事業収入が増えたことが主な要因である。

配分金平均支給額は、一人一ヶ月あたり14,578円であった。前年度と比較すると834円減少した。減額になった原因は、利用者が増加したにもかかわらず、収入の伸び率が低かったためである。

各事業ごとに、令和4年度、令和3年度を比較すると次の表のとおりとなる。

生産活動収入比較表（R4・R3）



事業名	工賃事業	自主事業	受託事業	農作業	その他事業
R 4年度	1,543,733	350,450	3,236,540	100,584	578,571
R 3年度	1,679,088	186,900	3,187,928	60,927	649,583